

# 令和7年度 学校評価表

64 長野県飯田風越高等学校

|                   |                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校教育目標            | 豊かな人間性と高い教養を持ち、他者と協働し、主体的に将来を切り拓く力と、地域・社会を牽引する資質を持った人物を育成する。                                                                                                                                     |
| 重点目標<br>(中・長期的目標) | ◇保護者・地域との連携を深め、信頼を得る学校づくりを行う。<br>◇社会の形成者として必要な規範意識の涵養とマナーの向上及び協働意識の育成を図る。<br>◇生徒一人ひとりの興味・関心、能力・特性に応じた適切な指導・支援を行うことにより、豊かな人間性を養い、社会を担う人材を育てる。                                                     |
| 今年度の重点目標          | ◇国際的な教育カリキュラムを研究した学校として、先進的な学びを継続し、教育課程及び評価方法を更に研究するとともに、他校に向けて発信していく。<br>◇豊かな知識に基づく思考力、表現力、判断力及び主体的に課題を解決しようとする態度を身につけた生徒の育成を目指す。<br>◇職員、生徒及び保護者が相互に意思疎通を図り、信頼関係に基づいて、いじめや体罰等のない安心安全な学校づくりに努める。 |

| 領域   | 対象    | 評価項目                                                                                                              | 評価の観点                                                                 |
|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 教育活動 | 教育課程  | 生徒・保護者及び地域の期待・要望を勘案し、風越高校の特色を生かせる教育課程の検討を進め、提示していく。                                                               | 次年度の講座・科目選択において、各学年と協力して、生徒の進路や興味・関心に応じたコース等の提示ができたか。                 |
|      |       |                                                                                                                   | 新教育課程表について、さらに改善すべき点があれば改善し、見直しをすることができたか。                            |
|      | 学習指導  | 学力の向上を図るために学習習慣の確立に努める。また、総合的な探究の時間(Fの学び)の在り方について検討・実践していく。                                                       | 家庭学習の充実を図ることができたか。                                                    |
|      |       |                                                                                                                   | 生徒の進路・ニーズに合った学習指導はできたか。                                               |
|      |       |                                                                                                                   | より良い総合的な探究の時間について検討・実践することができたか。                                      |
|      | 進路指導  | 進路希望に合わせた情報の提供と指導を行う。                                                                                             | 生徒の意識の高揚を図りながら進路希望に沿った指導ができたか。                                        |
|      |       | 職員間の進路情報、指導法の共有を図る。                                                                                               | 模試情報の迅速な共有とオンラインでの情報活用技術向上の取り組みができたか。                                 |
|      |       | キャリア教育の課題を具現化した進路指導を行う。                                                                                           | 「Fの学び」等を通して、進路意識を高揚させることができたか。                                        |
|      | 生徒支援  | 社会規範・交通規則・校則を守る意識を高め、いじめのない自律的な学校生活が送れるよう支援・指導を行う。                                                                | いじめ案件などにすぐに対応できたか。                                                    |
|      |       |                                                                                                                   | 規範意識が高められたか。特にSNSの危険性について理解が深まったか。                                    |
|      |       | 地域・家庭との連携を図り、安心・安全な環境を維持する。                                                                                       | 地域・家庭との信頼関係を深めることができたか。                                               |
| 教育活動 | 教育相談  | 教育相談態勢の充実を図る。                                                                                                     | 職員間で共通認識を持ち、適切な支援ができたか。                                               |
|      |       |                                                                                                                   | 関係機関の活用、連携ができたか。                                                      |
|      | 生徒会   | 自治活動としての支援を図る。                                                                                                    | 委員会、部活動、風越祭などが充実して行えたか。                                               |
|      |       | 協働して物事に臨む姿勢を促す。                                                                                                   | 参集型の生徒総会や集会などの運営や参加により協働して行事に臨めたか。                                    |
|      |       | 地域を意識した活動により社会性を育む。                                                                                               | 風越祭の企画やボランティア活動等において地域を意識した活動ができたか。                                   |
|      | 保健    | 自己の健康課題を把握し、健康の保持増進・感染症対策に主体的に取り組む力を育てる。                                                                          | 健康の保持増進に努める取り組みをサポートできたか。                                             |
|      |       |                                                                                                                   | 夏場の熱中症の予防等、季節に合わせた体調管理ができるよう、啓発活動を行うことができたか。                          |
|      |       |                                                                                                                   | 年間を通して感染症の予防に努め、校内での感染症の蔓延を最小限にとどめる取り組みができたか。                         |
|      | 図書    | 図書館の利用促進をいっそう図るとともに、探究学習や進路実現のための資料の拡充を目指す。                                                                       | 図書館の情報発信・環境整備、資料の拡充とともに、資料閲覧、調査、貸出が円滑に行えたか。                           |
|      |       |                                                                                                                   | 生徒への学びの提供が行えるよう環境を整えていくことができたか。                                       |
| 学校運営 | 視聴覚   | タブレット端末等を利用した学びの継続や伝統文化に親しむ機会を保障する。                                                                               | 生徒への学びの提供が行えるよう環境を整えていくことができたか。                                       |
|      |       |                                                                                                                   | 生徒への学びの提供が行えるよう環境を整えていくことができたか。                                       |
| 学校運営 | 人権平和  | 生徒や学校に携わる者が、人権学習を通じて人権の性質である固有性・不可侵性・普遍性を再度確認し、相互に享有することを目的とする。特に憲法第13条の「個人の尊重」に重点を置き人はいろいろ違って当たり前という当然の事実を認識したい。 | 平和人権学習や修学旅行体験を通じて、戦争の悲惨さと平和の尊さ、差別や不当な人権侵害の事例について学び、人権感覚を養い、磨くことができたか。 |
|      |       |                                                                                                                   | 人権を持つ人間としての尊厳や命の尊さについて学び、人権意識の向上を図ることができたか。                           |
| 学校運営 | 域との連携 | 保護者や地域との連携・交流に努めるとともに、積極的に情報を発信し、より一層開かれた学校づくりを進める。                                                               | 配信システムや広報誌、Webページで学校情報を積極的に発信できたか。                                    |
|      |       |                                                                                                                   | PTA活動や学校評議員会の意見を学校の教育活動に生かすことができたか。                                   |